

狙い IT 企画リーダーとしての BA(Business Analyst)を育成する。
ユーザ(経営者、業務)が、IT への要求、活用をできるように主導(リード)する人材である。そのために修得すべきこと、発想すべきこと、フォローすべきことを学ぶ。

「何のために、何をすべきか」まで、ベンダーは提供してくれない。

Of The User・・・ユーザ主導で、
By The User・・・ユーザによる、
For The User・・・ユーザのためのIT活用・・・をリードする。


対象 ● ビジネス IT 部、BA 部、IT 企画部、事務企画部、CIO オフィス、
ユーザ部門のシステム担当者、情報子会社での IT 企画要員
—経営者・ユーザの立場に立って IT 戦略・企画立案を担う人材
—新任部長、新任課長、新進気鋭の若手、ユーザ部門のシステム担当者
—幹部、ベテランの意識改革、次世代型 SE(BA&システムコンサルタント)

概要 期間・・・7月22日～9月30日(全7回) ※毎回水曜日 18:10～20:30 [2時間20分]
場所：丸ビルホール&コンファレンススクエア(東京都千代田区丸の内2-4-1、8階)
費用：55万円(別途、消費税) / 1名【教材費、交流会費用を含む】
定員：14名
—少人数制による「講義および事例紹介によるディスカッション方式」
—毎回、感想・課題回答を求め、次回に提出結果をもとにディスカッション

特徴

- 1 IT 企画指導の経験者(プロ)が講師。
- 2 経営者の目線、ビジネス発想、システム発想が学べる。
- 3 IT 活用の歴史と今後の展望(特に、次世代計画)が学べる。
- 4 経営者との会話の仕方が学べる。
- 5 システムへの基本要件の作成の仕方を学べる。
- 6 IT 企画業務の全プロセスを学べる。
- 7 他社の IT 企画部門の参加者と交流が図れる。
- 8 全講義の終了後、各社を個別訪問し、フォローアップディスカッションを実施。

教材 テクノロジストが作成したオリジナル教材(含む事例紹介)、課題図書

課題図書  ①『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』【岩崎 夏海 著】
②『マッキンゼーをつくった男 マービン・パウワー』【E.イダスマム 著】
③『未来は言葉でつくられる』【細田 高広 著】

講師

- 1 テクノロジスト 黒岩暎一(元 野村総合研究所常務取締役 システムコンサルティング 本部長)
・ コンサルタント社数 200社超(製造、カード、流通、公益、銀行、保険、証券、等)
・ 源流コンサルタント：経営層とのシステムアワー
- 2 【特別講義】 保険会社 情報システム担当役員
- 3 【特別講義】 日産自動車 理事 グローバル情報システム本部長 能丸 実 氏

(各講師は止むを得ない事由により変更する場合があります)

<申込方法>

◎E-mail (info@tcg-eye.com) にて下記内容をご連絡の上、お申込み下さい。

①参加者氏名 ②会社名・所属・役職 ③会社住所・電話・E-mail アドレス ④参加の理由

⑤請求先(請求先名・住所)

<お問合せ等>

テクノロジストコンサルティング株式会社 TEL:03-5408-7787 info@tcg-eye.com

～経営者・ユーザと会話し IT 活用をリードする～ (2020年7月22日～9月30日 全7回)

<p>第1回</p>	<p>コーポレート IT マネジメント、ビジネス IT とは？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション：(研修の狙い:BA とは何か)・(受講者自己紹介) 2 ホールディング制とコーポレート IT マネジメント,ビジネス IT ーメガバンク、製造業などの事例 3 IT 企画部門の組織的位置づけと役割 <p>(感想) 第1回講義の感想 (課題) ①自社の IT 企画部門と情報子会社の役割分担 ②『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』感想</p>
<p>第2回</p>	<p>BA ガイドブック・・経営者と会話するための「体」「技」 社外取締役について、次世代コンセプトの発想事例</p> <p>(感想) 第2回講義の感想 (課題) ①他社の経営層に面談依頼の手紙を書く ②家族、友人などに絵ハガキを書く</p>
<p>第3回</p>	<p>経営者目線の事例・・・11社の事例 (特別講義) 保険会社 情報システム担当役員 「事例：経営とシステム」</p> <p>(感想) 第3回講義の感想 (課題) ①自社の経営層とのシステムアワーの現状 ②『マッキンゼーをつくった男 マービン・パウワー』の感想</p>
<p>第4回</p>	<p>経営層、ユーザとのコミュニケーション方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経営層とのシステムアワーの運営 2 情報のインプット 3 情報システムのための全プロセス 4 BAガイドブック「心」 <p>(感想) 第4回講義の感想 (課題) ①自社および自身を自分の言葉で語る ②『未来は言葉でつくられる』の感想</p> <p>講義終了後懇親会:講師・受講者同士の交流</p>
<p>第5回</p>	<p>BAの立ち位置とBA目線</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 BA目線でのIT活用の歴史とITトレンドの把握 2 ユーザ(経営者、部門)へのIT教育 3 WEBをBA目線で捉える・・WEBは第六の権力、ビジネスIT <p>(特別講義)日産自動車 理事グローバル情報システム本部長 能丸 実氏 「自社での経営とITの変遷・今後」</p> <p>(感想) 第5回講義の感想 (課題) 自社での次世代システム提案までのプロセス</p>
<p>第6回</p>	<p>次世代プロジェクトの提言から解散までの活動 (G ディスカッション) 10年後のIT企画とBA</p> <p>(感想) 第6回講義の感想 (課題) 「自社のIT企画部門とBAの今後」、「自身のGoal Triangle」</p>
<p>第7回</p>	<p>最終講(経営層への提言)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「自社のIT企画部門とBAの今後」を経営層へ向けて提言する 2 「自身のGoal Triangle」 <p>——終講ディスカッション</p>

(研修後のフォローアップ) 研修報告&個別ディスカッション

○各社を訪問して、受講生ごとの研修報告書に基づき個社への報告&ディスカッション

※感想・課題提出方法：次回講義まで(原則、月曜日)にメールにて提出